



豊 大滝 議員
森林基幹道「放山線」の早期開通に向けた糸魚川市の考え方について

森林基幹道「放山線」の早期開通に向けた糸魚川市の考え方について

質問

放山線の建設経緯や開通時の課題について伺う。

市長答弁

放山線は当初、糸魚川・新井間を結ぶスカイライン構想として計画されたものだが、現在は、水源かん養や効率的な森林整備を目的として、大平地区と西飛山地区を結ぶ基幹的な林道として整備が進められている。林道沿線にある豊か



江 幸 議員
総合的な職員の定員管理について

総合的な職員の定員管理について

質問

今年度の職員数が567人で、合併時の平成17年度から95人の職員削減を果たしたことは評価しているが、一方、臨時職

員を含む職員総数は、平成17年度が845人、今年度は867人と、合計で22人の増加となっている。この状況について伺う。また、時間外勤務の実態はどうか。

な自然資源を活用し、観光と地域活性化にどう結び付けていくかが課題と考えている。

糸魚川市総合防災訓練の成果と問題、課題について

質問

6月23日の糸魚川市総合防災訓練における全市一斉津波避難訓練の成果と課題について伺う。

市長答弁

全市一斉津波避難訓練は海岸線の全域で行われ、延べ約8

市長答弁

職員定数については、定員適正化計画により目標数値を定めて対応してきたが、厳しい行財政運営が求められていることから、計画を上回るペースで削減を進めてきた。一方、臨時職員は、平成17年度と比較し、市役所や事務所等で33人、保育園・幼稚園で50人、学校で20人、その他施設で14人と、計117人の増加となっている。

また、平成24年度の職員1人あたり時間外勤務時間は、年間平均で約98時間であり、平成20年度からほぼ横ばいである。

千2百人が参加し、約9割の地区が30分以内に避難を完了している。昨年度に続き2度目の訓練を実施したことににより住民の防災意識の向上が図られたほか、関係機関との連携や市職員の初動体制等、一定の成果があったものと考えている。

また、課題としては、電話回線の発信規制を加えたため一部の地区で無線の通信状態が悪くなり、災害対策本部への情報集約に時間を要したこと等が挙げられる。

老朽化している公営住宅について

質問

建築後50年以上が経過した横町住宅、西浜住宅の今後について、また、入居者の生活指導や健康指導について伺う。

市長答弁

横町、西浜の市営住宅については、元教職員住宅であった西浜住宅13号棟を除き、新規の入居を行っておらず、将来的には取り壊しの予定である。また、市営住宅の入居者で要介

護状態になる恐れのある方や要介護者については、地域包括支援センターやケアマネージャー、保健師が対応している。



津波避難訓練のようす(能生地域)